

**日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で  
診療を受けられる患者さんへ  
～臨床研究に関する情報公開について～**

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	腎移植後レシピエントの腎移植後体重変化が予後に与える影響		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2024年 12月		
研究実施診療科	移植・内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2022年 2月 7日	
	院長が研究実施を許可した日	2022年 2月 8日	
対象となる方	対象期間内に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院移植・内分泌外科において、生体腎移植術を受けた方		
対象期間	(西暦) 2010年 1月 ～ (西暦) 2020年 12月		
研究責任者	所属	移植・内分泌外科	氏名 後藤 憲彦
研究の意義	移植患者において移植後体重の増加は移植腎喪失のリスクであり、他、心血管疾患や糖尿病などの合併症や生命予後へのリスクであることが示されています。移植腎機能の維持のためにも移植中長期のより重点的な体重管理指導が重要です。移植後、経時的に体重が増加する場合、その組成(体脂肪や筋肉量の割合)と移植腎機能や生命予後、合併症に与える影響の報告は少ないです。移植後の体組成の短期的または中長期の変化が移植患者の予後に大きく影響する可能性があり、調査が必要です。		
研究の目的	腎移植後レシピエントの術後短期/中長期の体重変化率、その組成とそれに影響を与える因子、長期予後との関連を調査します。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、血液検査結果、画像診断結果、移植関連の情報等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・		

	管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、本研究の目的のみに使用します。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植・内分泌外科 後藤 憲彦 電話 052-832-1121 (代表)